

仙台支部 11年ぶり再興

昨年11月 約100人が参加

支部長に相沢雄一郎氏 (昭28年卒)



相沢支部長が開会の挨拶

杜の都・仙台に隣接する塩釜、多賀城、岩沼、名取の各市に在住する同窓生は約五百人、各界各分野で活躍されている。仙台支部の歴史は長いのだが平成九年十一月以来休眠状態にあった。有志の間で母校への熱い思いを行動で示そうということになり、昨年十一月二十八日、十一年ぶりに総会を開催した。

母校からは山谷同窓会副会長、石井副校長、仙波同窓会事務局長がお出でになり会を盛り上げていただいた。

学都仙台とも言われるが、同窓生からは前東北工業大学

学長の岩崎俊一同大理事長 (昭十九年卒)、前東北大学総

長(昭十九年卒)、前東北大学総
した支部の活動を継続し交流
を深めていこう」とあいさつ。

独立法人大学入試センター理事長 (昭三十六年卒) の二人の学長が誕生しており、当日は、両氏をはじめ昭和十五年から平成十五年卒までの各世代の仲間約百人 (女性五人を含む) が出席した。

支部長に選ばれた相沢雄一郎氏 (昭二十八年卒、元河北新報常務・編集局長) が「復活



万歳を三唱、再興を誓う！

山谷副会長から会の近況、石井副校長が母校の現況報告、支部顧問に就任した岩崎、吉本両氏から母校で過ごした青春時代を振り返ってのスピーチがあった。

久方ぶりの総会ということもあって、テーブルのあちらこちらで語らいが弾んでいたが、内科クリニック院長の森りり子さん (昭四十二年卒)、離島病院奮戦記を出版した石巻市網小医院長の安田敏明氏 (昭五十二年卒)、慶応大学ラグビー部レギュラーで秋高ラグビー部だった八柳悟氏 (昭五十六年卒・秋田銀行河原町支店長)、北京オリンピックでフェンシング準優勝を伝えたNHK仙台放送局の伊藤慶太氏 (平二年卒) が近況などを五分間スピーチ。締めくくりに最長老の根本清氏 (昭十五年卒・現役の技術士) が「楽しい集いだった」と壮健ぶりを披露された。

副支部長の新田目倅造氏 (昭三十年卒・元東北電力常務) が「今日の熱気を来年につなげよう」と閉会の挨拶、全員が校歌を斉唱する中、仙台支部の復活総会が閉じられた (文責・副支部長千葉勝司・昭二十九年卒)

つどい

<p>不動産のサービスセンター 土地・ビル・アパートの仲介・管理</p> <p>合資会社 金子ビル開発</p> <p>代表社員 金子健三 (昭和37年卒)</p> <p>〒010-0911 秋田市保戸野すわ町10番13号 Tel 018 (865) 0281(代) Fax 018 (823) 5655 http://www.d6.dion.ne.jp/~kanekobk e-mail: kanekobk@d6.dion.ne.jp</p>	<p>秋田駅東口直結アルヴェ4F</p> <p>内科/産婦人科 医療法人 藤盛 レイディースクリニック Fujimori Ladies' Clinic</p> <p>院長 藤盛亮寿 (昭和37年卒)</p> <p>(018)884-3939 八八三〇</p>	<p>秋田銀行</p> <p>藤原清悦 (昭和37年卒)</p>	<p>秋田オフセット印刷(株)</p> <p>代表取締役 柳原良秋 (昭和37年卒)</p> <p>〒010-0913 秋田市保戸野鉄砲町3番59号 TEL 018-862-3328 FAX 018-862-1275</p>
---	---	--	--